

主な引受プロジェクト

電力関連

ミャンマー連邦共和国／ガス火力発電プロジェクト

中国電力株式会社（中国電力）及び四国電力株式会社（四国電力）は、タイ王国の大手エンジニアリング会社であるTTCL Public Company Limitedの子会社が保有する株式の一部取得を通じて、ミャンマー連邦共和国（以下、ミャンマー）最大の商業都市であるヤンゴンで運転中のアーロン・ガス火力発電所の運営に参画することになりました。

NEXIは、中国電力及び四国電力による出資に対して海外投資（株式等）保険の引受を行いました。また、アーロン・ガス火力発電所の運営に当たっては中国電力及び四国電力が出資参画する以前からExport-Import Bank of Thailand（タイ輸出入銀行）がPolitical Risk Insuranceの引受を行っており、今般両社の出資参画に伴い、当該Political Risk Insuranceの両社一部出資相当分について、タイ輸出入銀行から再保険の引受も行いました。本件は、タイ輸出入銀行との再保険協定（中長期案件）締結後の引受第一号案件です。

ミャンマーでは経済成長に伴い、電力需給のひっ迫が社会的課題となっている状況です。このような状況下、ミャンマー政府は新規発電所の新設を計画していると共に既存発電所の持続的・安定的な運営を目指しています。本件では、中国

電力・四国電力が長年培ってきた運転・保守技術を活かして、ミャンマーにおける持続的・安定的な電力供給に貢献することが期待されています。NEXIが本案件を支援することにより、本邦ユーティリティ企業の海外ビジネス展開が期待されます。

- 保険契約締結：2019年6月



（写真提供：中国電力株式会社）

台湾／Changfang及びXidao洋上風力発電プロジェクト

三菱重工業株式会社が50%出資参画するデンマーク王国（以下、デンマーク）の洋上風力発電設備製造会社MHI Vestas Offshore Wind A/S（MVOW）は、台湾彰化県沖における589MWの洋上風力発電プロジェクト向けに風力タービン発電機及びタワー62基等の主要機器を納入、据付及び保守を行うことになりました。本プロジェクトで発電される電力は台湾電力に商業運転開始後20年間にわたり売電されます。

NEXIは、プロジェクトファイナンスによる協調融資総額約900億台湾ドル（約3,240億円）のうち、計10行の金融機関による融資約102億台湾ドル（約370億円）について、ローカル・バイヤーズ・クレジットに基づく融資保険の引受を行いました。本件は、NEXIとして初のMVOW輸出支援案件です。

台湾では電力需要が拡大する中、必要なエネルギー資源を輸入に依存し、原子力の稼働が縮小傾向にあり、台湾政府は2025年までに5,700MW相当の洋上風力発電の導入を計画しています。本プロジェクトはこの政策目的に適い、台湾の目指すエネルギーミックスや環境負荷の低減に貢献することが期待されます。

また、NEXIによる本件支援は、今後も大きな成長が見込まれる洋上風力発電設備市場における本邦企業グループの事業機会拡大に貢献し、我が国産業の国際競争力の向上に繋がる

ものです。更に、本プロジェクト会社は、デンマークのインフラファンド運営会社Copenhagen Infrastructure Partnersが運営管理するファンドを通じて出資設立されたものであり、NEXIとして初となる、インフラファンドがメインスポンサーとなるプロジェクトの保険引受となります。世界的に資金提供者が多様化し、インフラファンド組成が拡大傾向にある中、こうした時代の変化にも出来る限り柔軟な対応をすべく取組を進めております。

- 保険契約締結：2020年2月



（写真提供：MHI Vestas Offshore Wind A/S）



モロッコ王国／Taza陸上風力発電プロジェクト

三井物産株式会社及びフランスの再生可能エネルギー事業者であるEDF Renouvelables S.A.が設立したプロジェクト会社を通じて、モロッコ王国（以下、モロッコ）北部のTaza市近郊地区において87.21MWの風力発電所を新たに建設し、Office National de L'Électricité et de l'Eau Potable（モロッコ電力・水公社）に対して商業運転開始後20年間にわたり発電所の運転、保守及び売電を行うプロジェクトを行うことになりました。

NEXIは、本プロジェクトにおいて、プロジェクト会社がプロジェクトファイナンスにより調達する協調融資（総額約113百万ユーロ）のうち、株式会社三井住友銀行及び株式会社三菱UFJ銀行の計2行の本邦金融機関による融資（約44百万ユーロ）に対して保険の引受を行いました。なお、株式会社国際協力銀行（JBIC）も本プロジェクトへの融資を決定しています。

モロッコ政府は2030年までに電力消費に占める再生エネルギーの比率を52%まで増やすことを目指しています。再生エネルギー導入拡大を進める背景には、国内に化石燃料資源が乏しく、海外からの輸入に大きく依存していることがあります。本プロジェクトはこの政策目的に適い、同国の

目指すエネルギーミックスや環境負荷の低減に貢献することが期待されています。

なお、2019年8月に開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD7）において、日本政府の対アフリカ協力方針はモロッコ政府にも支持されており、本プロジェクトはこうした日本政府の対アフリカ施策にも合致するものと言えます。

- 保険契約締結：2020年2月



（写真提供：三井物産株式会社）

資源関連

マレーシア／RAPID製油所・化学コンプレックスプロジェクト

NEXIは、マレーシア南部ジョホール州において、Pengerang Refining Company Sdn. Bhd. (Pengerang Refining Company) 等が実施するRefinery and Petrochemical Integrated Development (RAPID) プロジェクト向けの融資に対して保険の引受を行いました。

本プロジェクトは、マレーシアの国営石油会社Petroleum Nasional Berhad（ペトロナス）及びサウジアラビア王国の国営石油会社Saudi Arabian Oil Company（サウジアラムコ）が、マレーシア南部ジョホール州Pengerang地区において日量30万バレルの精製能力を持つ製油所と、エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、グリコール等の石油化学プラント群から成る同国最大の複合コンプレックス（RAPID）を建設・操業するもので、東洋エンジニアリング株式会社が、スチーム・クラッカー・コンプレックスの建設を一括受注しております。

借入人であるPengerang Refining Companyがプロジェクトファイナンスにより調達する資金のうち、本邦からの輸出品等の代金に充てられる資金について、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、シティバンク、エヌ・エイ東京支店及び株式会社国際協力銀行（JBIC）が約1,500百万米ドルを協調融資し、NEXIはこのうち本邦金融機関による融資（約600百万米ドル）に対して、保険の

引受を行いました。

本案件はスペイン輸出信用保険会社（CESCE）、韓国輸出入銀行（KEXIM）、韓国貿易保険公社（K-SURE）、イタリア外国貿易保険株式会社（SACE）、JBIC、NEXI等の複数の輸出信用機関が連携する国際協調融資案件です。

NEXIが本案件を支援することにより、本邦企業による輸出を金融面から支援し、本邦企業の国際競争力の維持・向上に寄与することが期待されます。

- 保険契約締結：2019年11月



（写真提供：Petroleum Nasional Berhad（ペトロナス））

主な引受プロジェクト

Bangladesh人民共和国 / Ghorasal肥料製造プラント建設プロジェクト

三菱重工業株式会社(三菱重工業)は、中国化学工程第七建設有限公司(China National Chemical Engineering & Construction Corporation Seven, LTD)と組成するコンソーシアムを通じ、丸紅株式会社の協力を得て、Bangladesh人民共和国(以下、Bangladesh)の国営肥料製造会社であるBangladesh Chemical Industries Corporation(BCIC)から、Bangladeshの首都ダッカから北東50キロのGhorasalに新規肥料プラントを整備するプロジェクトを受注しました。

これに関連し、NEXIは民間金融機関及び株式会社国際協力銀行(JBIC)による本プロジェクトに係る協調融資(総額約1,103億円)のうち、株式会社三菱UFJ銀行と香港上海銀行東京支店が融資する約442億円に対して保険の引受を行いました。

Bangladeshは、農林業が同国GDPの10%超を占め、労働人口の約40%が農業に従事する農業大国ですが、昨今の経済成長・人口増加により肥料需要がますます旺盛になっています。こうした中、BCICが保有する既存肥料製造工場の老朽化が進み、一部肥料は輸入に頼っていましたが、本プロジェクトにより肥料の国内生産が可能となり、同国経済の発展に大きく寄与することが見込まれます。

また、本プロジェクトでは三菱重工業グループのCO₂回収技術の採用により、環境負荷の低減と尿素増産を両立させたオペレーションが可能となります。NEXIが本プロジェクトを支援することにより、本邦企業の海外インフラ輸出の拡大が期待されます。

- 保険契約締結：2020年1月



(画像提供：三菱重工エンジニアリング株式会社(プラント完成予想図))

ロシア連邦 / Arctic LNG2プロジェクト

三井物産株式会社(三井物産)は、ロシア連邦(以下、ロシア)のギダン半島において、ロシアの天然ガス生産・販売大手PAO Novatekが推進するArctic LNG2プロジェクトに、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)と共に参画することとなりました。三井物産及びJOGMECが共同出資で設立したオランダ王国法人Japan Arctic LNG B.V.を通じプロジェクト会社Arctic LNG2社の持分を10%取得しています。

本プロジェクトは、PAO Novatek、三井物産及びJOGMECの他、フランスのTotal、中国石油天然気集団(CNPC)及び中国海洋石油集団(CNOOC)が参画する国際プロジェクトでもあり、今後、在来型陸上ガス田を開発、年間1,980万トンの生産能力を持つ天然ガス液化設備を建設、2023年頃から天然ガスの生産、販売及び輸送を予定しています。

NEXIは、本プロジェクトに対する三井物産の投資につき、海外投資保険の引受を行いました。また、本プロジェクトに対しては、株式会社国際協力銀行(JBIC)及び民間金融機関による協調融資も行われています。

三井物産は、本プロジェクトに対する権益持分(10%)に応じて天然ガスの引取を行う予定であり、日本にとって重要

な資源である天然ガスの安定確保に貢献するものです。生産された天然ガスは北極航海路を通じてアジア及び欧州を中心に供給される予定であり、アジアにおける天然ガスバリューチェーン構築にも資するものです。また、日本・ロシア両国の経済、外交関係の発展に寄与することも期待されます。

- 保険契約締結：2019年7月



(画像提供：PAO Novatek(天然ガス液化設備の完成予想図))



インフラ関連

パラオ共和国／パラオ国際空港ターミナル運営プロジェクト

双日株式会社（双日）、日本空港ビルデング株式会社（日本空港ビル）及び株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）の本邦3社が、パラオ共和国（以下、パラオ）政府との共同出資事業会社を通じ、同国の首都玄関空港であるパラオ国際空港の旅客ターミナル・商業施設等改修・拡張を実施するとともに、同施設の20年間の運営を行うプロジェクトを行うことになりました。

NEXIは、双日及び日本空港ビルによる投資につき、パラオの非常リスクのほか、本プロジェクトに係るパラオ政府とのConcession Agreementを対象とした契約違反リスクをてん補する海外投資保険の引受を行いました。本件は、NEXIにとりパラオ向け海外投資保険引受の第一号案件となります。

パラオ国際空港は、同国にとって唯一の国際空港であり、近年では観光客など交流人口の増加により、その重要性がますます高まっている中、本プロジェクトは観光を基幹産業とするパラオの経済・社会の持続的な発展に貢献するものとなります。また、本プロジェクトは、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた我が国政府の取組に沿ったプロ

ジェクトでもあるところ、NEXIによる海外投資保険、JOINによる出資参画に加え、独立行政法人国際協力機構（JICA）による融資も行われる案件であり、民間企業の有する知見やネットワークといった強みを生かしたインフラ海外展開を政府系金融三機関が協調して支援するものでもあります。

- 保険契約締結：2019年4月



（画像提供：双日株式会社（空港完成予想図））

タンザニア連合共和国／ライトレール改修・建設プロジェクト

三井物産株式会社は、タンザニア連合共和国（以下、タンザニア）政府主導のもと全長1,219kmを結ぶ最高時速160kmの準高速鉄道設備（線路、橋梁、信号システム、駅舎、管理室等）を5区間に分けて改修・建設する大型インフラプロジェクトについて、日本製鉄株式会社製の鉄道レールを輸出しました。この鉄道レールは、現在建設が進んでいるグルエスサラーム～モロゴロ間、モロゴロ～マクテュポラ間の2区間において使用されます。

NEXIは、2019年8月20日にデンマーク王国（以下、デンマーク）の輸出信用機関（ECA）であるデンマーク輸出信用基金（EKF Denmark's Export Credit Agency (EKF)）との間で締結した再保険協定に基づき、EKFが本プロジェクトへ提供する輸出信用につき再保険の引受を決定しました。本件は、同協定下で再保険引受を行う第一号案件です。本プロジェクトのファイナンスには、NEXIと同様にスペイン王国、オーストリア共和国、イタリア共和国、スイス連邦の4つのECAがEKFとの再保険を通じて参画するほか、スウェーデン王国のECA、アフリカ輸出入銀行、南部アフリカ開発銀行、東部・南部アフリカ貿易開発銀行も参画します。

2019年8月に横浜で開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD7）に代表されるように、日本は官民一体となりアフリカ地域におけるビジネスを推進しています。NEXIはファイナンス支援による円滑なプロジェクト組成に向け

各関係機関との連携を強化しており、今後も再保険協定に基づくOne-Stop-Shop再保険スキームを活用することで、本邦企業によるアフリカ向け貿易・投資の促進が期待されます。

また、2019年9月には安倍総理大臣とユンカー欧州委員長（当時）が「持続可能な連結性及び質の高いインフラに関する日EUパートナーシップ」に署名するなど、日本と欧州の協力は益々重要性を増しています。本件は、日本と欧州のECAが再保険という形で協調し、一つのインフラプロジェクトを実現に導く象徴的な取組と言えます。

- 再保険契約締結：2020年5月



（写真提供：スタンダードチャータード銀行）

主な引受プロジェクト

農業関連

シエラレオネ共和国／パイナップル農園・加工工場投資プロジェクト

伊藤忠商事株式会社（伊藤忠商事）が100%出資するDole International Holdings株式会社（Dole International Holdings）は、シエラレオネ共和国（以下、シエラレオネ）の首都フリータウンの南東200kmにあるルグブゥ地区にてパイナップルのプランテーション開発とそれを原料としたパイン加工品の食品製造プロジェクトを行うことになりました。

NEXIは、本プロジェクトに対するDole International Holdingsによる投資につき、シエラレオネの戦争・不可抗力リスクをてん補する海外投資保険の引受を行いました。また、世界銀行グループの多数国間投資保証機関（MIGA）から、シエラレオネ政府による収用リスク及び本プロジェクトに係る契約違反リスクについて一部再保険の引受も行っています。本件は、2018年5月に締結したMIGAとの再保険分野における協力協定を適用するアフリカ地域における第一号案件となります。

本プロジェクトを通して、かつて内乱等を経験した地域に多くの雇用が創出されることとなります。伊藤忠商事、日・シエラレオネ政府、国際機関であるMIGA、そしてNEXIと、様々な関係者の協力と努力が結実したプロジェクトであり、日本企業だけではなく現地の社会発展にも大きく貢献して

いる、いわば日本と現地がwin-winの関係にあるという海外投資のモデルケースになるプロジェクトです。NEXIが支援することにより、今後も高い成長が期待されるアフリカ地域での本邦企業のさらなる事業の発展が期待されます。

本件は2019年8月に開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD7）において掲げられた日本の取組のうち、投資の促進、産業の多角化等にも貢献するプロジェクトです。

- 元受保険契約締結：2019年4月
- 再保険契約締結：2019年6月



（写真提供：伊藤忠商事株式会社）

ブラジル連邦共和国／Louis Dreyfus Company Brasil S.A.向け長期運転資金融資プロジェクト

NEXIは、ブラジル連邦共和国（以下、ブラジル）の大手穀物商社であるLouis Dreyfus Company Brasil S.A.（以下、LDC Brasil）に対する180百万米ドルの長期運転資金融資に対して保険の引受を行いました。本融資は、シティバンク、エヌ・エイ東京支店、BNPパリバ銀行東京支店、アイエヌジーバンク エヌ・ヴィ東京支店、信金中央金庫、コメルツ銀行東京支店、株式会社京都銀行、株式会社常陽銀行による協調融資です。

LDC Brasilは、1851年創業の穀物メジャーであるLouis Dreyfus Companyグループのブラジル子会社として1942年に設立されました。LDC Brasilは我が国の食料安全保障上の重要物資である大豆やトウモロコシをはじめ、砂糖、米、綿花、コーヒー、ジュース等多岐にわたる農産物を集荷、加工、販売しています。ブラジルは大豆の輸出量で世界第1位、トウモロコシの輸出量で世界第2位を占める一大食料輸出国であり、中でも同社は綿花及び米ではブラジル国内最大、大豆等の油糧種子やトウモロコシ、コーヒーにおいても国内最大級の輸出規模を誇る大手食料企業です。

日本政府が掲げる「インフラシステム輸出戦略（経協インフラ戦略会議決定 令和元年度改訂版）」では、「国民への食料の安定供給のため、世界全体の農業生産の増大、農業投資の増大とともに、必要な輸入については、その安定化、多角化を

図る観点から、官民連携により、中南米等を対象に、大豆やトウモロコシ等の調達取組の強化や我が国からの海外農業投資を促進するための方策を検討」することが明記されています。本件はこの戦略を具体化するもので、今回の融資を契機に本邦企業との取引の促進が図られ、LDC Brasilが扱うブラジル産の油糧種子である大豆や飼料穀物であるトウモロコシ等を輸入する機会が増え、取引量も増加し本邦企業の調達先の多角化に資するものです。

- 保険契約締結：2019年12月



（写真提供：Louis Dreyfus Company Brasil S.A. 撮影者：Marcio Bruno）



インド／線材製造設備新設プロジェクト

JFEスチール株式会社が15%出資するインドの大手製鉄企業であるJSW Steelに対して、インド南西部カルナタカ州のヴィジャヤナガル製鉄所の拡張のため、Primetals Technologies Ltd.の海外子会社であるPrimetals Technologies USA LLC及びPrimetals Technologies India Private Limitedが粗鋼の加工に用いる線材圧延設備一式を納入いたしました。

本件は株式会社国際協力銀行（JBIC）及びJSW Steelの間で2018年3月26日に設定した輸出クレジットライン*の下で引受を行うプロジェクトであり、株式会社みずほ銀行（みずほ銀行）及びJBICの協調融資（総額約49百万米ドル）により行われます。NEXIIはこのうちみずほ銀行の融資部分（約20百万米ドル）について保険の引受を行いました。

インドでは、国内経済成長を背景として鉄鋼需要の拡大が見込まれている中、高品質の日本製製鉄設備に高い関心が示されています。本件は、日本企業の海外法人製の機械・設備等の輸出・販売拡大を支援し、本邦企業が出資するJSW Steelの設備投資ニーズに迅速かつ柔軟に対応するものです。

※輸出クレジットラインは、輸出金融の一形態であり、日本からの設備等の輸出を促進するため、あらかじめ一定金額の融資枠を設けておくものです。

- 保険契約締結：2020年1月



(写真提供：Primetals Technologies)

ロシア連邦／PJSC ACRON社尿素プラント向け遠心圧縮機輸出プロジェクト

NEXIIは、日立キャピタル株式会社（日立キャピタル）がロシア連邦（以下、ロシア）の肥料製造大手企業のパJSC ACRONから受注した尿素プラント向け遠心圧縮機輸出について、貿易一般保険（2年以上案件）の引受を行いました。

PJSC ACRONはロシア有数の肥料製造販売企業であり、国内販売だけではなく世界各地に肥料及び肥料原料となる化学製品の輸出を行っています。現在、同社のVeliky Novgorod工場ではアンモニアを製造する際に自然発生した大量の二酸化炭素が大気中に排出されていますが、今後はこの二酸化炭素を回収して同じ工場内にある尿素プラントに移送し、圧縮して再利用することで尿素の生産能力を増強して肥料原料の自給率を上げることが計画されています。本プロジェクトは尿素増産に必要な主要機器である遠心圧縮機及びモーター等付帯設備を日立キャピタルが5年間の長期延払条件で輸出するものです。

本邦から輸出される圧縮機は、2016年にVeliky Novgorod工場を立ち上げた際にも機械納入の実績がある株式会社日立インダストリアルプロダクツの製品です。今回は同社製品の品質の高さや納期の確実性に対する信頼感に加えて、

長期延払条件であることが評価され、輸出が実現しました。NEXIIは、2017年4月に2年以上の延払案件であっても貿易一般保険の引受を再開することを公表いたしました。本プロジェクトは、引受再開を公表して以降、初めてロシア向けに引受を行う長期延払案件になります。

- 保険契約締結：2019年9月



(写真提供：株式会社日立インダストリアルプロダクツ)